

自動車点検整備推進強化月間

9月～10月の2ヶ月間は、「自動車点検整備推進強化月間」として、推進運動が展開されます。自動車の適切な点検整備を実施し、保守管理に努めましょう。

「自動車点検整備推進運動」の目的

「不正改造車を排除する運動」や「ディーゼルクリーン・キャンペーン」と連携を図りつつ自動車ユーザーに適切な点検・整備の実施の必要性を理解し、認識していただくとともに、自動車運送業者等の大型自動車を用いるユーザーにあっては、より確実に点検整備を実施していただくため、自動車関連団体との協力を得て、「自動車点検整備推進運動」を全国的に展開します。

「実施機関」

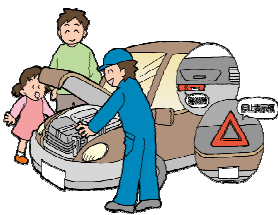
推進：国土交通省、自動車点検整備推進協議会

後援：内閣府、警察庁、環境省

協力：自動車検査独立行政法人、軽自動車検査協会、独立行政法人自動車事故対策機構

「重点実施事項」

- < 重点項目 >
- ・点検・整備の必要性の啓発
 - ・大型自動車に関する適切な点検・整備の方法についての啓発
 - ・エコ整備(点検・整備によるCO₂削減効果をいう)の積極的な啓発
- < 実施事項 >
- ・自動車の点検・整備を推進するためのイベント等の開催
 - ・総合的な広報・啓発活動の実施
 - ・重点点検の実施
 - ・講習や無料点検等の実施
 - ・出前講座等の実施
 - ・不正改造車ユーザーへの警告
 - ・黒煙の排出量の多い自動車ユーザーへの点検・整備の啓発
 - ・公用車の点検整備
 - ・自家用自動車及び事業用自動車等の定期点検整備の推進
 - ・整備不良者等に起因する事故防止の啓発



An advertisement for the car inspection and maintenance campaign. It features a smiling woman in a white sweater sitting in a car. A speech bubble next to her says "ねえ、知ってる?" (Hey, do you know?). To her right, vertical text reads "クルマに乗る人は、点検整備しないと、いけないんだって。" (People who drive cars, it's not okay if they don't get checked and maintained). Below the woman is a circular inset showing a person working on a car's tire. At the bottom, there is a cartoon mechanic character and text: "安全と環境保全にはクルマの点検整備が必要です。" (For safety and environmental protection, car inspection and maintenance is necessary). It also includes a QR code and a URL: "http://www.ami.t.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000089.html".

安全と環境保全は、クルマの点検・整備が必要です

日常点検や定期点検はクルマのトラブルを防ぐだけでなく、地球温暖化の原因であるCO₂の削減にもつながります。また燃費などが改善することでおサイフにもやさしいんです！

日常点検 日頃、自動車を使用している中で、走行距離や運行状態などから判断し、適切な時期に点検を行うことが必要です。チェックしてみましょう。

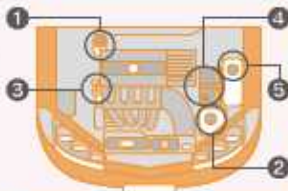
定期点検 定期点検は、安全確保・環境保護の観点から、自家用乗用車については、1年ごとに実施しなければなりません。

車検（自動車の検査）は、安全・環境面で国が定める基準に適合しているかどうかを一定の期間ごとに確認するものであり、次の検査までの安全性等を保証するものではありません。したがって、使用者は日常点検整備や定期点検整備を確実に実施するとともに、使用に際した適切な保守管理を行う必要があります。



マイカーを点検しよう！日常点検 15 項目チェックシート

日常点検 #01



エンジンルーム 5項目



① ブレーキ液の量

ブレーキ液のリザーブタンクを見て、液量が上層ラインと下層ラインとの間にあるかどうかを点検します。液量が下層ラインより低い場合は、安速に補充せず、早急に整備のプロに相談しましょう。



② 冷却水の量

冷却水のリザーブタンクを見て、液量の上層ラインと下層ラインとの間にあるかどうかを点検します。この冷却水が下層ラインに近いが、それより少ない場合は、上層ラインまで冷却水を補充しましょう。



③ エンジン・オイルの量

エンジンに付いているオイルレベルゲージを抜きとり、付着しているオイルを拭きとってから、ゲージをいっぱいまで差し込み、再度抜きとってオイルの量を見ます。ゲージの矢印についている2本のラインか、ゲージ部分の目印の中間にオイルがあれば合格です。ゲージの下層ラインよりもオイルが下層にあるときは補充しましょう。また、汚れている場合は交換しましょう。



④ バッテリー液の量

バッテリー液の量が規定の範囲（上層と下層の間）にあるかを液辨を指らすなどで点検します。バッテリー液は酸性が強いので、体、衣類、車体などに付着しないよう注意しましょう。



⑤ ウィンド・ウォッシャー液の量

ウィンド・ウォッシャー液の量が適量かを点検します。液量が少ない場合は上層まで補充しましょう。

日常点検 #02



クルマの周り 4項目



⑥ ランプ類の点検・点滅

クルマにはヘッドライト、スモールランプ、ブレーキランプ、テールランプ、ウィンカーなど、多くのランプが付いています。点灯・点滅の機能を確認し、レンズの汚れや曇りも調べましょう。点灯・点滅していない場合は、すみやかに交換しましょう。



⑦ タイヤの亀裂・損傷の有無

タイヤの亀裂や損傷の有無を目や手で確認するとともに、タイヤに異物が付着していないかを入念に点検します。タイヤにかみ込んだ異物はきれいに取り除きましょう。また、タイヤが片寄りしている場合は要注意。整備のプロに相談しましょう。



⑧ タイヤの空気圧

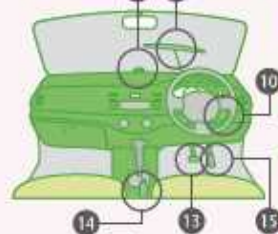
タイヤの接地部分のたわみ具合を目で見て確認しましょう。接地部分のたわみ具合で判断ができなければタイヤゲージを使って点検しましょう。タイヤの空気圧が不足している場合は、指定空気圧まで補充しましょう。



⑨ タイヤの溝の深さ

タイヤの溝の深さが浅くないかをタイヤの接地部分のスリップ・サインを目印に、チェックします。スリップ・サインは溝の深さが1.6mm以下になると、現れます。溝の深さが足りないとき、スリップしやすくなり、雨天走行時はとても危険です。サインが現れたら、早急にタイヤを交換しましょう。車スリップ・サインは、タイヤ側面の三角マークのある位置の接地面に出現します。

日常点検 #03



運転席 6項目



⑩ エンジンのかかり具合・異音

エンジンが滑やかに始動し、スムーズに回転するかを点検します。また、エンジン始動時やアイドリング状態で、異音がないかを点検します。



⑪ ウィンド・ウォッシャー液の噴射状態

ウィンド・ウォッシャー液を噴射させ、ワイパーの作動範囲に噴射されるかチェックします。また、その向きや高さも確認を点検します。



⑫ ワイパーの拭き取り能力

ワイパーを作動させ、気流および風速の自作動が不具合がないかを点検します。また、ウィンド・ウォッシャー液がきれい拭き取れるかを点検します。ワイパーのから拭きは、ガラスを傷つけるので、ウィンド・ウォッシャー液を噴射してからワイパーを作動させましょう。



⑬ ブレーキの踏み残りしるしと動き具合

エンジンをかけて異音がないかどうか確かめたら、ブレーキペダルを踏んで踏み込んだとき、床板との隙（踏み残りしるし）が適量かどうか確認します。踏みこたえが「いつもと違うな」と感じたら要注意です。



⑭ 駐車ブレーキの引きしろ（踏みしろ）

駐車ブレーキをいっぱい引いた（踏み込んだ）ときに、引きしろ（踏みしろ）が手すりあたり、少なすぎたりしないかを点検します。ブレーキペダルと同様に、駐車時や定期点検整備との違いを比較してください。



⑮ エンジンの低速・加速状態

エンジンを低速させた状態で、アイドリング時の回転がスムーズに回るかを点検します。次に、エンジンを徐々に加速したとき、アクセルペダルに引っかかりがないか、スムーズに回転が上がるか、走行するなどして点検します。

※自家用乗用車の定期点検は、1年ごとに点検を行う項目が細かく決められており、整備のプロにまかせたほうが安心です。